

クリーン活動開催

11月30日(日)クリーン活動を開催しました。小学生・中学生、また各自治会・子供会から約270名が参加されました。当日天気にも恵まれ、8自治会のコースに分かれゴミ拾いをしてもらいました。参加者からゴミを拾うことだけでなく、「普段接点のない学生さんとの話ができて楽しかった。」「全体的にゴミは少なかったが、たばこの吸い殻があった」などの感想が出ました。この活動を通して、自分たちが住んでいる地域をきれいにしていきたいという意識が高まったと思います。



今年も様々な行事ができました！

さちが丘地区の連合自治会は4つの単位自治会から構成され、現在5名の青少年指導員で活動しています。連合自治会にはレクリエーション部があり、青少年指導員とスポーツ推進委員の全員、それに子ども会や各自治会から選ばれたメンバーで様々な行事を行っています。

8月には連合の夏祭りが、10月には大運動会が開催され、赤いシャツを着たレクリエーション部員が運営の中心となって、心地良い汗を流しました。



7月に行われた地域パトロールは、今年初めて防犯指導員の方と一緒に回ることができました。そして12月は大縄跳びの予選会が無事終わり、今年度のさちが丘地区での活動はほぼ終わりました。

第20回

旭区大なわとび大会

1月31日(土)、旧若葉台西中学校で第20回旭区大なわとび大会が開催されました。旭区の15地区から、小学生低学年、高学年、大人が混ざった混合チームの合計33チーム、延べ282名が参加し、熱戦を繰り広げました。

開会式と準備体操を終え、いよいよ競技が開始されました。まずは低学年の部から始まり、高学年、そして混合の順で進んでいきます。体育館には、縄が床を叩く音と「1、2、3、4...」という元気な掛け声が響き渡ります。練習ではなかなかうまく跳べなかったチームも、本番では集中力を発揮し、次々と記録を更新していきます。

各チームはたくさん跳ぶために様々な工夫を凝らしていました。縦一列だけでなく途中から向きを変え横一列に並んだり、引っかかった人が次々に入れ替わるチームもありました。縄の回し方もチームによって様々で、速く回すチームもあれば、ゆっくりと安定したリズムで回すチームも。たくさん跳べているチームは同じテンポで縄を回しているように見えました。息の合った縄回しとジャンプが、記録更新の鍵を握っているようでした。

大会を終え、各チームの絆はより一層深まったことでしょう。一つの目標に向かって共に練習し、励まし合い、喜びを分かち合う。大なわとびは、体力向上だけでなく、チームワークや協調性を育む素晴らしいスポーツだと感じました。参加した皆様、本当にお疲れさまでした。来年もまた、熱気あふれる大なわとび大会が開催されることを楽しみにしています。



令和8年度の行事予定

- 旭区子ども写生大会 6月20日(土) よこはま動物園ズーラシア
- 旭ふれあい区民まつり「竹細工教室」 10月 旭区役所周辺
- 旭区親子野外自然体験活動 11月 こども自然公園、同青少年野外活動センター
- 旭区大なわとび大会 令和9年2月7日(日) 旭スポーツセンター

編集後記

あさひ青指だより第97号をお読みいただきありがとうございます。本号では各地区での活動と毎年恒例のイベント旭ふれあい区民まつり・旭区親子野外自然体験活動・旭区大なわとび大会の報告を掲載しました。わたしたち青少年指導員は子どもたちや地域の皆様とのつながりを広げながら楽しく活動しています。その様子をこのあさひ青指だよりを通してお伝えできれば幸いです。

あさひ青指だより 第97号

発行 旭区青少年指導員連絡協議会
編集 広報部会
事務局 旭区役所地域振興課
TEL:045-954-6099

旭区マスコットキャラクター あさひくん

令和7年度活動記録

第35回 旭ふれあい区民まつり

第35回旭ふれあい区民まつりが10月19日(日)旭区役所、鶴ヶ峰商店街駐車場、鏝の渡し緑道などで開催されました。朝から天気にも恵まれ、情報体験コーナー、ミニ商店街等々この会場も大勢の人で賑わいました。青少年指導員は①全市統一行動キャンペーン活動②竹細工教室を行いました。

統一キャンペーンでは、「子どもの笑顔は世界のたから」のチラシやウェットティッシュなど約1000セットを鶴ヶ峰公園周辺で配布しました。竹細工教室では、竹とんぼ、一輪挿し、竹笛、ぶんぶんまるそして竹ぼっくりの製作指導を行いました。特に竹ぼっくりは好評で、13時頃には品切れとなり、後から求めてきた子どもは残念そうな表情でした。小刀、錐、鋸等の刃物を使っての工作でしたが一人も怪我をすることなく無事終了しました。



竹細工教室

旭区親子野外自然体験活動

毎年人気の自然体験活動ですが、今年は11月1日(土)と29日(土)の2日間開催しました。両日とも好天に恵まれ、予定していたウォークラリー、モルック、野外炊事のすべての企画を実施することができました。今年参加の子どもたちはとても元気いっぱい、ウォークラリーでは野山を駆け巡り7つのポイントを難なくこなし、モルック競技でもクリアを目指して白熱する姿が印象的でした。また野外炊事も薪割りや、かまどの火に挑戦する子が多く、お父さんの活躍の場を持っていかれるほどでした。調理では親子で協力して焼きそばを作る姿が見られました。子どもたちの頼もしい姿を優しい眼差しで見つめている親御さんの姿も印象的でした。この体験活動が子どもたちの想像力や、家族の絆を強く感じていると感じ、これからも続けていきたいと思いました。



地区だより

旭区内 19 地区のうち、9地区分の活動を紹介します。

笹野台地区

モルック大会

12月6日(土) 笹野台小学校の校庭でモルック大会(低学年)を実施しました。北欧のフィンランドが発祥のスポーツで20センチほどの木の棒を12本のピンに向けて投げ、倒したピンに書かれた点数の合計が50点になるように競うスポーツです。

参加者は親子2人で1チームとして全部で9チーム。モルックをやるのは初めてと言う親子は2チームいました。試合は3チームずつ3グループに分かれてリーグ戦にしました。

ルールを説明して競技を開始。最初はピンに当たらずに不満そうな顔も、繰り返し投げているとだんだん当たる様になり得点が入ると笑顔になってきました。

最後50点にする為に狙ったピンに投げて見事に倒すと、大きな声を上げて喜び合っていました。



上白根地区

モルック

上白根地区において、モルックを開催しました。

参加者は、四季の森小キッズクラブ・障害者施設のしらねの里の方・地域の方等が参加して下さいました。参加者が約40名になりましたので、コートを3面作り、ルール説明した後にモルック競技をしたことのない方も含めて試技を行いました。特にモルックを投げた事が無い方は、スキットル(木製のピン)に当たらず少し苦労していました。

正式競技に入ってから、徐々に上手になり、チーム内でこのピンを狙うか話し合いがありました。白熱した戦が続いて、皆さんの楽しい顔にかわっていき様子をうかがう事ができました。

このモルックを続けて欲しいとの声を聞き、年内中に再度開催する予定にしました。



二俣川地区

トンボとり大作戦 2025

秋晴れの10月5日(日)、トンボとりをとおして、地域の自然に興味を持ってもらい、自然を大切にすることを目的として、こども自然公園内の教育水田周辺でトンボとり大作戦を開催しました。

子どもたちが捕獲したトンボの種類、雌雄等を記録後に、翅に番号をマーキングして放します。当日は30人(子ども15人、保護者15人)が集まってくれました。約1時間半で捕獲しマーキングしたトンボは、全部で9種類、71頭で、詳しくは表のとおりです。オニヤンマなどの生きたトンボに直接手で触れて目を輝かす子どもたちの姿がとても印象的でした。



トンボの翅にマーキングするフォーラムのジュニア調査員



トンボを熱心に観察する子どもたち



捕獲されたオニヤンマ

| 種類 | 捕獲頭数 | 種類 | 捕獲頭数 |
|-----------|------|---------|------|
| オニヤンマ | 2 | アキアカネ | 36 |
| ギンヤンマ | 3 | マユタテアカネ | 1 |
| シオカラトンボ | 7 | ノシメトンボ | 2 |
| オオシオカラトンボ | 2 | コノシメトンボ | 16 |
| ウスバキトンボ | 2 | 合計 | 71 |

なお、今回のトンボとりは、横浜市環境教育出前講座として、講師に「トンボはドコまで飛ぶかフォーラム」を招いて行いました。

希望が丘東地区

地元地区の人たちと共に

希望が丘東地区では、毎月の防犯パトロール以外に、連合自治会・スポーツ推進委員・社会福祉協議会等の行事へ参加、サポートすることで地元地区に貢献しています。



夏祭り

8月23日(土)地区連合主催の夏祭りに、警備、子ども神輿のサポート、アイス配布、模擬店(くじ引き)で参加しました。暑さ対策のため、8月下旬に開催されたものの、当日は猛暑でした。しかし、4時の開場とともに、大勢の来場客が訪れ、大変賑わいました。

運動会

10月5日(日)スポーツ推進委員&連合主催による運動会では、スポーツ推進委員の競技進行をサポートしました。前日は不安定な天候でしたが、当日は秋晴れとなり、運動会日和となりました。昨年の反省点を踏まえ、競技が見直されており、幅広い年齢層が楽しめるよう工夫されています。



万騎が原地区

「作って遊ぶ」がテーマの工作教室

作ってからすぐに遊べる工作題材を検討し毎年開催しております。ご家族の方も一緒に参加していただいております。「子どもたちには「すぐに遊べて楽しかった!」と好評の行事です。ここに代表的な工作を紹介します。

① ぐにゃぐにゃ風

作った風に絵を描いてからすぐに校庭へ出て走り出します。
→風が壊れると修理してすぐに走り回ります。

② 万華鏡

作った万華鏡をのぞき込んでクルクルまわします。
→入力光の穴を塞いだままになってキラキラしない事もありました。

③ 紙飛行機

作った紙飛行機を持って体育館の壇上から一斉に飛ばします。
→捨ったら壇上に戻ってきてまた飛ばします。



物を作るだけでなく、動かして、遊びへと発展させることで、二重の楽しさと達成感を味わってもらえたらと思います。

青少年指導員活動はもとより、連合自治会、社会福祉協議会、子供会と協力して万騎が原を盛り上げるように地域活動を続けてまいります。

希望が丘地区

親子紙ヒコーキ作成・飛行大会



希望が丘地区では、毎年「親子紙ヒコーキ作成・飛行大会」を開催し、今年で28回目となりました。今年は地域の小学生・未就学児及び同伴保護者58名が参加し、紙ヒコーキの型紙をハサミで切り抜き、のりで貼り付けして作成し、その後、滞空時間を競う競技を行いました。

保護者と子どもが協力しながら作成に取り組む様子が多く見られ、会場は終始和やかな雰囲気に包まれていました。競技中には大きな声援が上がるなど、一体感のある大会となり盛況のうちに終了しました。次回以降も継続開催し、親子のふれあいと地域交流の促進に寄与する有意義なイベントとなるよう努めていきたいと思っております。



旭南部地区

ペットボトルロケットを飛ばそう!

旭南部地区では毎年ペットボトルロケット大会を実施しています。昨年は秋に開催を予定していましたが雨で中止となっていた為、今年こそは6月開催に向け張りきって準備をしていましたが再び雨で中止に。

2年連続の中止は何としても回避したいと会長が秋の臨時開催を決定。願いが届いたのかりベンジで設定した9月21日(日)に無事開催することが出来ました!素晴らしい秋晴れで最高のロケット日和。水に濡れながらも子どもたちが元気よく飛ばしました。それぞれの思いを乗せたロケットが秋の空に飛んでいくのを見て、開催出来てよかったなとメンバー一同喜びに溢れた一日でした。

